



# 学校だより

名古屋市立

高針台中学校

R 5.12.22 NO.9

## ☆ 2学期終業式

本日、2学期の終業式が行われました。終業式での校長講話をご紹介します。

2年生の稲武野外学習や音楽会、高中スポーツフェスティバルといった行事が行われた2学期も今日で終わります。みなさんにとって、どのような2学期でしたか。今日は、2学期の終業式という節目の日です。そこで、「自分を振り返る」ということについて話をします。

先日、私は大学生の頃まで住んでいた家の付近を歩く機会がありました。とても懐かしく思って、思わず家があった場所から6年間通った小学校の通学路を一人で歩いてみました。

40年ぶりに歩いた通学路は、子ども会でお世話になった近所の人に住んでいた家が建て替えられて表札が変わっていたり、友だちの家が建っていた場所が更地になっていたりと大きく様変わりしており、何だか言葉に表せない寂しさを感じながら歩いていました。

でも、分団の集合場所を通ると、目印となっていた柿の木が当時と変わらず実を付けて育っていたり、道路沿いのフェンスがそのまま残っていたりする状況を見たとき、小学生だった自分を思い出し、懐かしく、そしてうれしい気持ちになりました。

そんな気持ちでしばらく歩いていると、何か違和感を感じたので、「何だろう」と考えていたときにふと気付きました。それは、「懐かしいと感じたものが全て小さく感じる」ということでした。

当時と比べて今の私は、40cm近く身長が伸びていて、周りのものを見ている目線は明らかに高い位置となっているため、下から見上げていた小学生の頃とは全く違う景色となっていたのです。

この目線のこと気付くと、通学路を歩きながら「小学校が懐かしい」という気持ちから、小学校を卒業して「40年間自分がたどってきた時間が懐かしい」という気持ちに変化していきました。そして、「中学校・高校・大学」から「教員」のそれぞれの場面で、毎日を精一杯過ごしてきた自分を振り返り、懐かしさを感じるとともに、「もっと頑張ってみよう」と勇気をもらった気がしました。

さて、みなさんは今回紹介したような過去の自分を懐かしく感じる機会がありますか。昔、遊んだ場所に行ったときやよく聴いた曲を聴いたりしたときに、今の自分から少し離れて当時の自分を思い出しながら、客観的に振り返ることがきくとあると思います。

この「自分を振り返る」とは、自分の歩んできた足跡をじっくりと見つめ直し、これまでの自分の成長を感じながら、次に目指すべき方向を見付け出すことができる行為で、前に進んでいくためにとっても大切なことです。

今日は、終業式でこの2学期を振り返ることができる機会です。また、年末というのは、今年1年間を振り返ることができる機会です。このように考えると、これから迎える年末・年始とは、自分を振り返る絶好の機会だと思えます。

年末・年始の時間を利用して、走り続けてきた自分の足跡を振り返り、新しい年に向けてどのように進むかをじっくり考えてみてください。そして、新しい年に向けての目標を決め、3学期新たな気持ちで元気に登校してくれることを願っています。